# 国道153号 飯田南道路 (飯田市山本地区·伊賀良地区) 第2回 計画段階評価

国土交通省中部地方整備局平成30年12月18日

## 目 次

- 1. 計画段階評価区間
- 2. 前回審議内容
- 3. 計画段階評価手続きの進め方
- 4. 第1回意見聴取の結果
- 5. 対応方針の検討
- 6. 第2回意見聴取(案)について

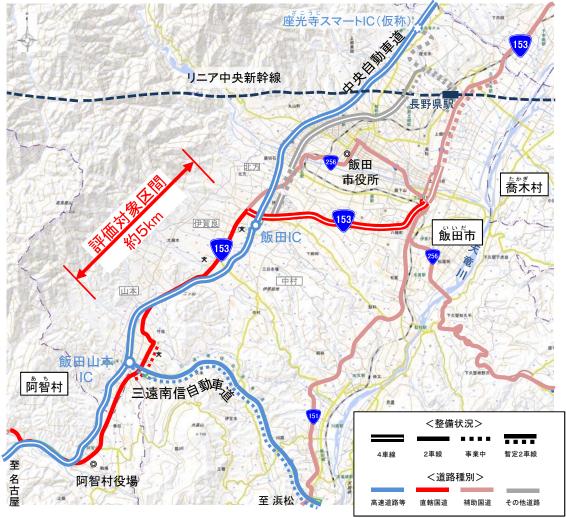
# 1. 計画段階評価区間

# 1-1. 評価対象区間

- ■国道153号は、愛知県名古屋市を起点とし、長野県塩尻市に至る延長約210kmの道路。
- ■評価対象区間は、飯田市の西部に位置し、飯田市山本と飯田市伊賀良を結ぶ延長約5kmの区間。

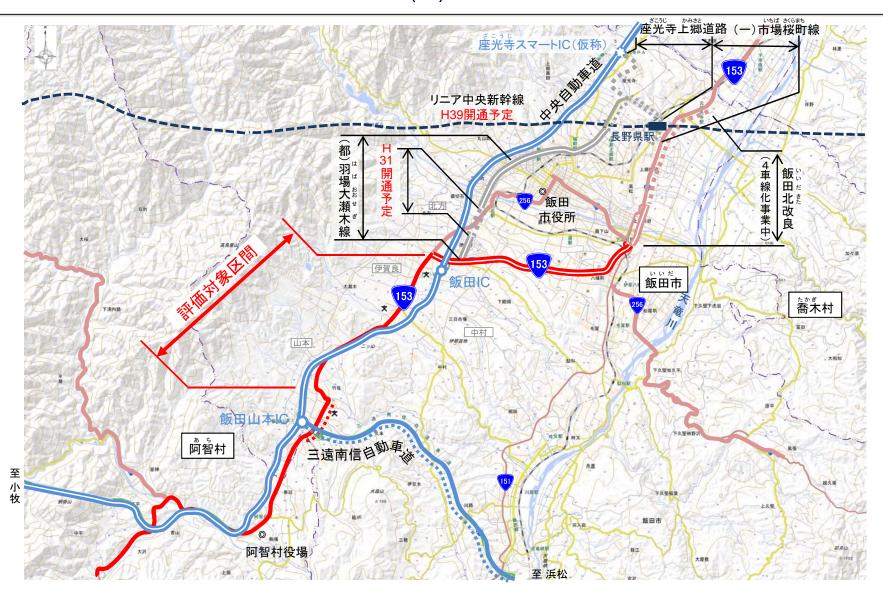
#### ■広域図 塩尻市 至 岡谷 💆 🖊 至 塩尻 木曽郡 長野県 153 山梨県 岐阜県 上伊那郡 飯田市 伊那市 駒ヶ根市 名古屋市 静岡県 大桑村 愛知県 リニア中央新幹線 長野県 岐阜県 静岡県 至名古屋 愛知県

#### ■路線位置図



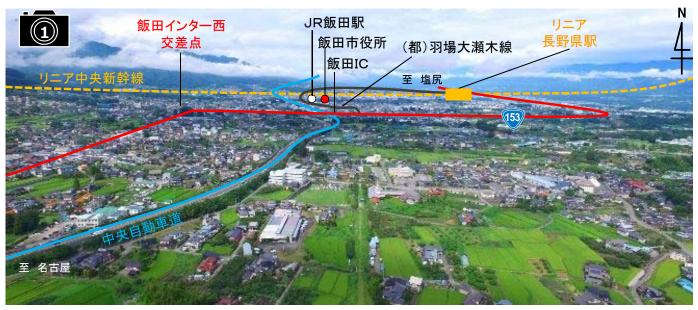
## 1-2. 周辺の道路整備状況

- ■周辺には、高速道路ネットワークとして中央自動車道、三遠南信自動車道がつながっている。
- ■また、幹線道路としてはリニア開通に向け、(都)羽場大瀬木線や飯田北改良等の事業が進んでいる。



# 1-2. 周辺の道路整備状況





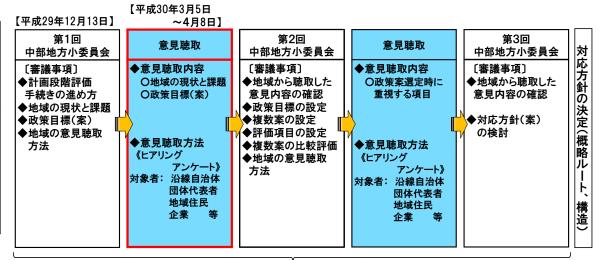


# 2. 前回審議内容

# 2. 前回審議内容 1)前回審議内容①

#### ■平成29年度 第1回社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会の概要

実施日	平成29年12月13日(水)
議事内容	①飯田南道路の位置付け ②地域の状況と課題 ③政策目標(案)の設定 ④地域からの意見聴取方法(案)



地方小委員会

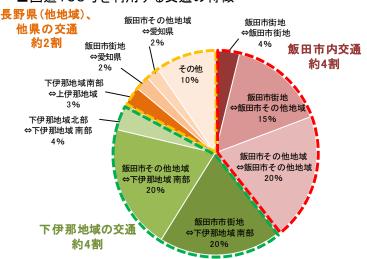
#### ■前回審議での主なご意見と対応状況

主なご意見	対応状況	該当箇所
交通特性や利用状況等に関する分析をしつつ、 当該路線の役割を踏まえて検討を進められない か。	・交通特性、利用特性の分析を実施し、政策目標を踏まえて、当 該路線の役割を検討。	P8
アンケートに対して対象者に分かりやすい表現と なる工夫が必要。	<ul><li>・専門用語を極力なくして、わかりやすい質問内容を検討。</li><li>・対象者が興味を持たれるような目を引くアンケートのデザインを検討。</li></ul>	P9

# 2. 前回審議内容 1)前回審議内容②

- ■対象区間では、比較的移動距離の短い飯田市内の交通や下伊那地域内で市を跨ぐような中距離移動の交通が 混在している。
- ■通勤・通学、仕事、日常的な買い物・通院等、様々な目的のため利用されている。
- ■リニア長野県駅の開通により、広域観光の促進等、更なる自動車交通の増加も見込まれる。
- ■そのため、国道153号の利用交通を中距離移動の交通中心に適正化を図ることが重要。

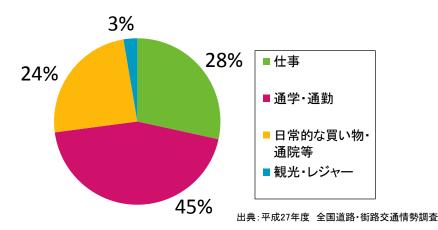
#### ■国道153号を利用する交通の特徴





出典: ETC2. 0プローブ情報(H28. 10)を基に算定 飯田市街地: 飯田市内のDIDを含む町字地域 飯田市その他地域: 飯田市街地以外の地域

■対象区間周辺を利用する交通の目的別割合





#### 長野県リニア活用基本構想

| 趣旨:リニア中央新幹線開業を長野県の発展に繋げるためにリニアを見据えた 地域作りの指針として策定

#### 【広域観光の促進】

方針1:リニア駅を拠点とした観光ルートづくり

リニア長野県駅に立ち寄り、北や南の観光スポットを訪ねる「縦軸観光ルート」 (県内縦断の旅)の構築に取り組む

#### 【良好なアクセスの確保】

方針2:道路ネットワークの強化

国道153号は、将来長野県駅の主要なアクセス道路となることから、国と連携 しながらその整備についての検討を進める。

# 2. 前回審議内容 1)前回審議内容③

- ■専門用語を無くす等、アンケートの表現をわかりやすい内容に検討。
- ■回収率向上のため、対象者が興味を持つような目を引くアンケートのデザインを検討。

#### ■質問内容の変更

# 変更前 ・自動車の利用頻度、・利用目的、・対象区間の利用状況、・目的地 ・交通集中による渋滞が発生していると感じる ・カーブや道路が狭い箇所があり、危険を感じる ・歩道が狭く、危険を感じる ・リニア長野県駅と観光地とのアクセス強化が必要 ・渋滞をなくし、交通を円滑にすること ・道路線形が良く、安全・快適に走行できること ・通過交通と地域内交通を分けること ・リニア長野県駅・観光地へのアクセス強化に資すること



#### 変更後

- ・自動車の利用頻度、・利用目的、・対象区間の利用状況、・目的地、・利用時間
- ・交通集中による渋滞が発生して困っている
- ・カーブや道路が狭い筒所があり、危険を感じる
- 歩道が狭い通学路区間を大型車が通り、危険を感じる
- ・リニア長野県駅開業による観光客の増加や産業の活性化に伴う交通需要増加への対応が必要
- 渋滞がなく、スムーズに移動できること
- ・カーブや急な勾配、幅の狭い区間がなく、車が安全・快適に走行できること
- ・歩行者が安全に通行できること
- ・観光の促進や産業の活性化に寄与すること

■アンケートデザインの変更





#### 変更後



#### 凡例

■ : 専門用語を修正 ■ : 補足の言葉を追加

# 3. 計画段階評価手続きの進め方

# 対応方針の決定(概略ルート、構造)

【平成29年12月13日】

#### 第1回 中部地方小委員会

#### 〔審議事項〕

- ◆計画段階評価 手続きの進め方
- ◆地域の現状と課題
- ◆政策目標(案)
- ◆地域の意見聴取 方法

【平成30年3月5日

~4月8日】

#### 【平成30年12月18日】

#### 意見聴取

- ◆意見聴取内容 ○地域の現状と課題 ○政策目標(案)
- ◆意見聴取方法 《ヒアリング

アンケート》 対象者: 沿線自治体

> 団体代表者 地域住民

地域住氏 企業 等

#### 第2回 中部地方小委員会

#### 〔審議事項〕

- ◆地域から聴取した 意見内容の確認
- ◆政策目標の設定
- ◆複数案の設定
- ◆評価項目の設定
- ◆複数案の比較評価
- ◆地域の意見聴取 方法

#### 意見聴取

- ◆意見聴取内容 ○政策案選定時に 重視する項目
- ◆意見聴取方法 《ヒアリング

アンケート》 対象者: 沿線自治体 団体代表者

> 地域住民 企業 等

#### 第3回 中部地方小委員会

#### [審議事項]

- ◆地域から聴取した 意見内容の確認
- ◆対応方針(案) の検討

地方小委員会

# 4. 第1回意見聴取の結果

# 4. 第1回意見聴取の結果 1) 意見聴取の概要

- ■意見聴取期間は、平成30年3月5日~平成30年4月8日。
- ■下伊那地域の住民、地方公共団体、各種団体、道路利用者を対象にアンケート・ヒアリングを実施。

#### ●意見聴取(1回目)の概要

調査内容	調査票 形式	配布数	回収数 (回収率)	
		郵送	66,600	10,503(16%)
住民 アンケート	・下伊那地域内などの市町村在住の方	留置き	I	63
			1	71
沿線地域 事業者アンケート	・商工会、観光協会、県トラック協会、県バス協会、 県タクシー協会の会員企業	郵送	911	181(20%)
道路利用者アンケート	・下伊那地域内の「道の駅」利用者 ・観光地利用者 ・高速PA利用者	留置き	-	181
各種団体 聞き取り調査	<ul><li>・警察、消防、学校、商工会、観光協会、温泉旅館組合、旅行業協会、道の駅関係者</li><li>・下伊那地域内の市町村・愛知県、長野県</li></ul>	ヒアリング	_	59

周知方法:記者発表、ポスター掲示、国、IPへのバナー貼り付け

配布方法:①住民アンケートは、全戸配布

②道路利用者アンケートは、観光地や「道の駅」

高速PAへアンケート用紙設置

回収方法: ①郵便ポスト

②市町村役場や「道の駅」、スーパーマーケットに投函ボックスを設置

期 間:約1ヶ月(平成30年3月5日~4月8日)

#### ●アンケート項目

	<b>その利用状況などについて</b>				
問 1-1. あなたご	自身のことについて教えてくた	<b>ごさい</b> 。			
1:長野県飯田市( ) 2:長野県(飯田市以外)( )市・区・町・村( ) 3:( ) 和・道・府・県( )市・区・町・村( ) ※ <b>選信用はがきに記入</b> してください。( )には具体的住所を記入し、番地までは必要ありません。					
性別 1. 男性	2. 女性 2. 20 代 3. 30 代	4 40 45 E E0	45 C CO 45	7 70 <del>45</del> N. L.	
	<u>2.20代 3.30代</u> 車を利用されますか?【1つ道		10 0.0010	7. /0 威以上	
	ほぼ毎日 2. 週に数回程度		度 4. ほぼ利用	しない 5. 利月	用したことが
	で1~4と回答された方にお 3号(飯田市山本~飯田市伊		ますか。		
1. 利用する	2. 利用しない (※問	12~)			
	で1と回答された方にお聞き 3号(飯田市山本〜飯田市伊		主な目的を教えて	ください。【1つ	選択】
1. 仕事 2. 通道	助・通学 3. 日常的な買い物	・通院等 4. 観:	七・レジャー 5.	その他(	)
問 1-5. 「問 1-4」	の目的での主な利用時間帯は	いつですか?【複	数選択可】		
1. 0~3 時 2. 8. 21~24 時	3~6 時 3.6~9 時 4.	9~12 時 5.	12~15 時 6.	15~18 時 7.	18~21 時
問 1-6. 「問 1-4」	の目的で向かう主な目的地は	どこですか?			
( ) {	鄒・道・府・県 (	) ī	<b>⋼・区・町・村</b>	(	)
【4段階評	〜④について、4段階評価し № 3. どちらか 点や解消すべき点		2. どちらかというと あなたの言		全くそう思われ
①交通集中による渋滞が		4	3	2	1
-	<b>善</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4	3	2	1
CO > ( ZEMIN MV E	間を大型車が通り、危険を感じる	4	3	2	1
③歩道が狆い通学路区間	こよる観光客の増加や産業の活性化に	4	3	2	1
④リニア長野県駅開業に					
④リニア長野県駅開業に 伴う交通需要増加へ		4			'
④リニア長野県駅開業( 伴う交通需要増加へ) ⑤その他(自由回答)	の対応が必要			_	'
(4) リニア長野県駅開業( 伴う交通需要増加へ (5) その他(自由回答) 問3. 国道153	の対応が必要 号(飯田市山本〜飯田市伊賀 <u></u>	复)に求められる			
4リニア長野県駅開業( 伴う交通需要増加へ (⑤その他(自由回答) 問3. 国道153 問3-1. 国道15	の対応が必要 号(飯田市山本〜飯田市伊賀 3号(飯田市山本〜飯田市伊賀	良)に求められる 関良)には、どの			
(4)コア長野県駅開業に 伴う交通需要増加へ (5)その他(自由回答) 問3. 国道153 問3-1. 国道15 以下の①	の対応が必要 号(飯田市山本〜飯田市伊賀 <u></u>	良) に求められる 程良) には、どの てください。	ような機能・役割	が必要だと思いま	すか?
(4)コア長野県駅開業(伴う交通需要増加へ) (5)その他(自由回答) 問3. 国道153 問3-1. 国道15 以下の① 【4段階詞	の対応が必要    号(飯田市山本〜飯田市伊賀月  3号(飯田市山本〜飯田市伊賀  〜④について、4段階評価し	良) に求められる 程良) には、どの てください。	ような機能・役割	が必要だと思いま こそう思わない 1.	すか?
(4)コア長野県駅開業(伴う交通需要増加へ) (5)その他(自由回答) 問3. 国道153 問3-1. 国道15 以下の① 【4段階詞	の対応が必要 号 (飯田市山本〜飯田市伊賀! 3号 (飯田市山本〜飯田市伊賀! 〜④について、4段階評価し 価 4.強くそう思う 3.どちらか わる機能・役割	良) に求められる 程良) には、どの てください。	ような機能・役割;	が必要だと思いま こそう思わない 1.	すか?
(4) リニア長野県駅開業(件う交通需要増加へ)     (5) その他(自由回答)     (日 3) 国道 153       日 3-1 国道 15 以下の①	の対応が必要 号 (飯田市山本〜飯田市伊賀! 3号 (飯田市山本〜飯田市伊賀! 〜④について、4段階評価し 価 4.強くそう思う 3.どちらか わる機能・役割	き) に求められる 程良) には、どの てください。 いというとそう思う	ような機能・役割; 2. どちらかというと あなたの言	が必要だと思いま こそう思わない 1. 平価の程度	すか?全くそう思われ
④リニア長野県駅開業 伴う交通需要増加へ ⑤その他(自由回答) 問 3- 1 国道 1 5 以下の① 【4段階詞 求 8	の対応が必要  号 (飯田市山本〜飯田市伊賀  3号 (飯田市山本〜飯田市伊賀  ~倒について、4段階評価し・  「価」4.強くそう思う 3.とちらか  力る機能・役割  べに移動できること  画の狭い区間がなく、事が安全・快適に	き)に求められる 程度)には、どの てください。 というとそう思う	ような機能・役割。 2. どちらかというと あなたの記 3	が必要だと思いま <u>- そう思わない 1.</u> 平価の程度 2	すか? 全〈そう思わ <sup>2</sup>
	の対応が必要  号 (飯田市山本~飯田市伊賀 3 号 (飯田市山本~飯田市伊賀 へ後)について、4段階評価し・ ・価 3 強くそう思う 3 どちらか かる機能・役割 べに移動できること の狭い区間がなく、車が安全・快適に できること	食) に求められる 程良) には、どの てください。 というとそう思う 4	ような機能・役割。 2. どちらかというと あなたのま 3 3	が必要だと思いま - そう思わない 1. - 平価の程度 2 2	すか? 全くそう思わ <sup>7</sup> 1
	の対応が必要  号 (飯田市山本~飯田市伊賀 3 号 (飯田市山本~飯田市伊賀 へ後)について、4段階評価し・ ・価 3 ・強くそう思う 3 とちらか かる機能・役割 べに移動できること の狭い区間がなく、車が安全・快適に できること	食) に求められる 残食) には、どの てください。 というとそう思う 4 4	ような機能・役割/ 2. どちらかというと あなたの計 3 3 3	が必要だと思いま そう思わない 1. 中価の程度 2 2 2	全くそう思われ 1 1 1
	の対応が必要  号 (飯田市山本~飯田市伊賀 3 号 (飯田市山本~飯田市伊賀 へ後)について、4段階評価し・ ・価 3 ・強くそう思う 3 とちらか かる機能・役割 べに移動できること の狭い区間がなく、車が安全・快適に できること	食) に求められる 残食) には、どの てください。 というとそう思う 4 4	ような機能・役割/ 2. どちらかというと あなたの計 3 3 3	が必要だと思いま そう思わない 1. 中価の程度 2 2 2	全くそう思われ 1 1 1

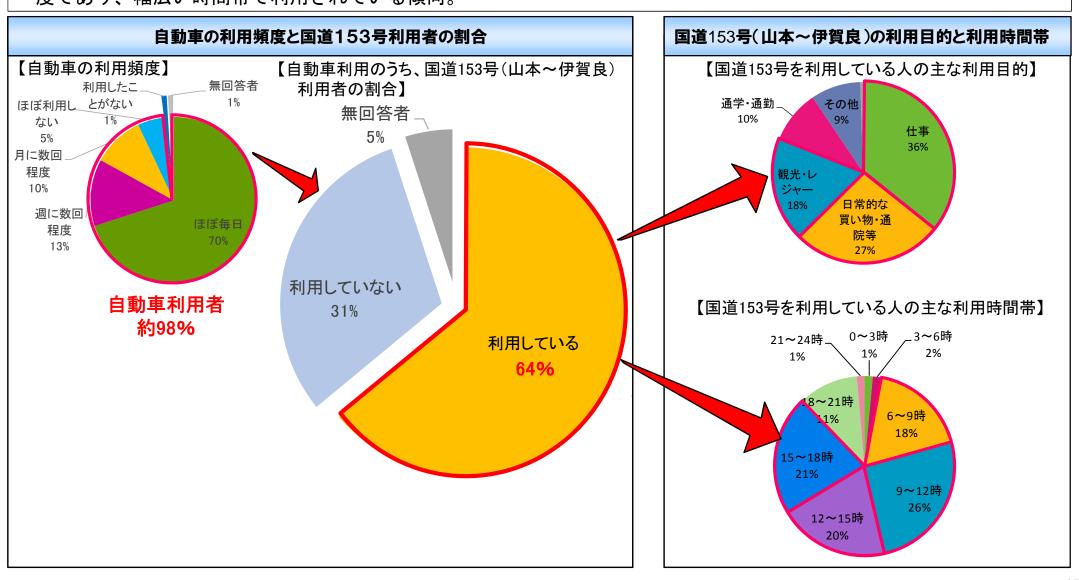
# 4. 第1回意見聴取の結果 2)回答者属性

- ■住民10,637人、事業者(団体・企業)240、道路利用者181人から意見聴取を実施。
- ■男性が約7割と高い傾向。年齢は60歳以上が約6割を占める。

#### 回答者属性 ■アンケート回収状況 住民 事業者 道路利用者 240団体 181人 10,637人 ■性別 ■年齢 無回答者 10代 20代 30代 無回答者 1% 2% 6% 1% 1% 女性 約59% 40代 25% 70歳以上 13% 29% 50代 男性 18% 60代 74% 30% 総回答数10,818人

# 4. 第1回意見聴取の結果 3)回答者の国道153号利用形態

- ■回答者のうち自動車を利用している人が98%。そのうち、国道153号を利用している人が64%。
- ■その利用目的は、「仕事」、「日常的な買い物・通院等」の項目が多く。次いで「観光・レジャー」が2割程度。
- ■また、その利用時間帯は、「6~9時」・「9~12時」・「12~15時」・「15~18時」がそれぞれ同程度であり、幅広い時間帯で利用されている傾向。

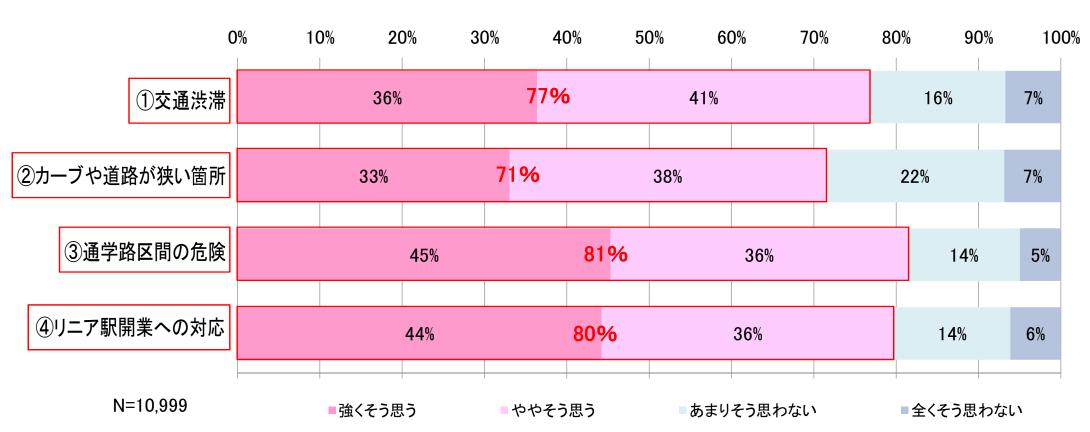


# 4. 第1回意見聴取の結果 4)交通の課題①

■交通の課題については、全ての項目について当該区間の道路の課題だと認識している人が多い。

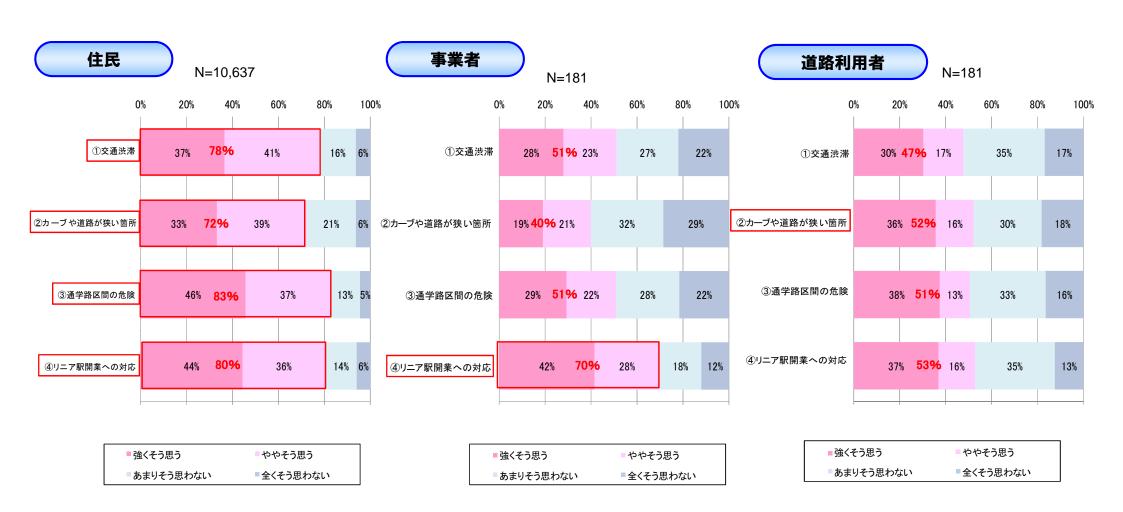
全体

#### Q:飯田市山本〜飯田市伊賀良間の国道153号には、どのような交通課題があると思いますか? 4段階で評価してください。



# 4. 第1回意見聴取の結果 4)交通の課題②

- ■住民は、全ての項目について道路の課題だと認識しており、特に「①交通渋滞」、「③通学路区間の危険」、「④リニア駅開業への対応」を当該区間の道路の課題だと実感している人が多く、全体と同じ傾向。
- ■事業者は、地域振興につながる「④リニア駅開業への対応」、道路利用者は、交通安全の確保につながる「②カーブや道路が狭い箇所」が全体の傾向と違い相対的に高い傾向。

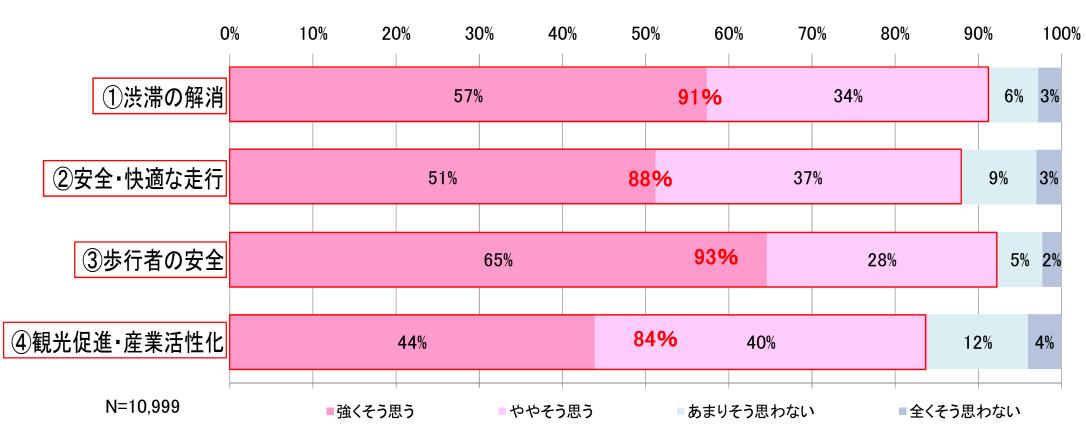


# 4. 第1回意見聴取の結果 5)国道153号に求められる機能・役割①

■道路に求める機能としては、全ての項目について当該区間の道路に求める機能・役割だと実感している人が多い。

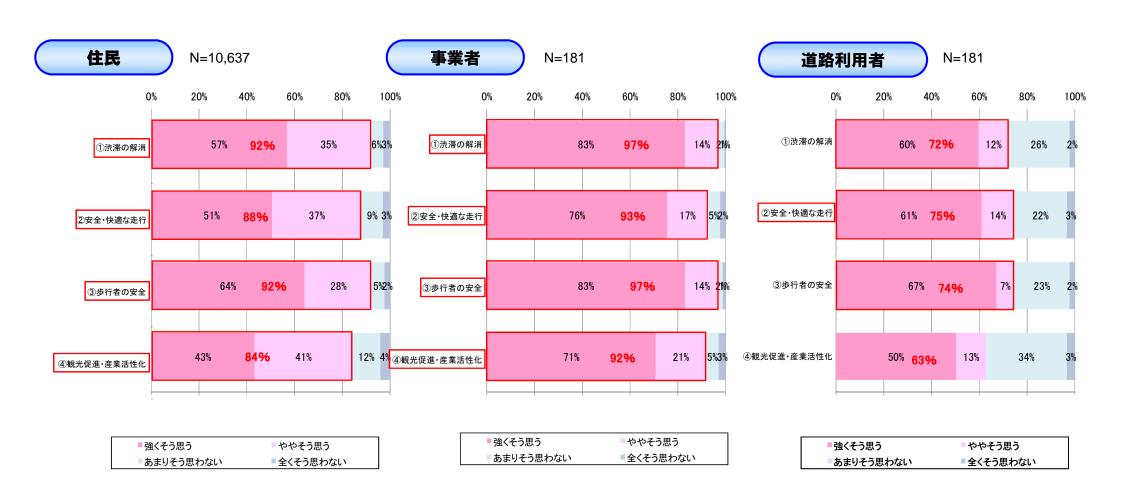
全体

#### Q:飯田市山本〜飯田市伊賀良間の国道153号には、どのような道路機能が必要だと思いますか? 4段階評価してください。



# 4. 第1回意見聴取の結果 5)国道153号に求められる機能・役割②

- ■住民、事業者は全ての項目について当該区間の道路に求める機能・役割だと実感している人が多く、全体と同じ傾向。
- ■全体的に、課題についての認識の度合いよりも、求める機能・役割についての認識が高い傾向にあり、特に事業者、 道路利用者はその傾向が顕著。
- ■道路利用者は、「②安全・快適な走行」が全体の傾向と違い、相対的に高い傾向。

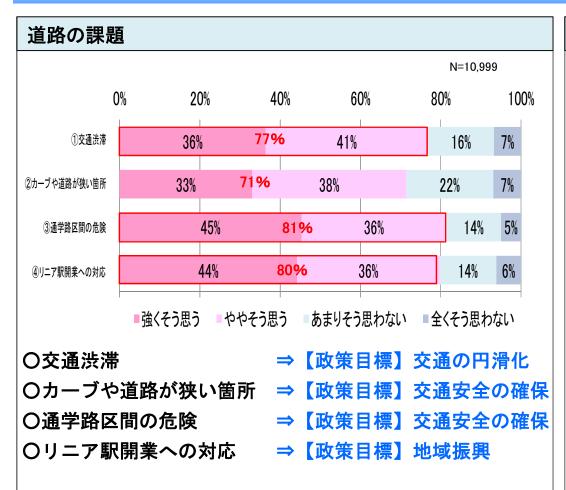


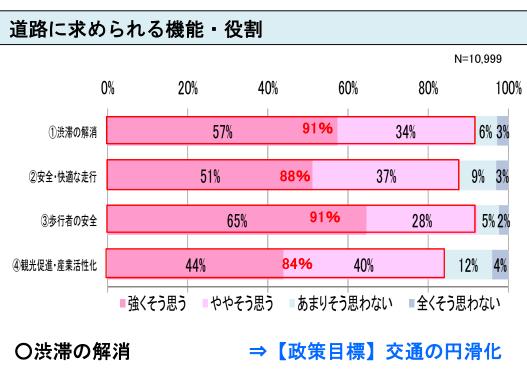
# 4. 第1回意見聴取の結果 6)ヒアリング・アンケート 自由意見

- ■渋滞による生活や企業活動への悪影響、線形不良や幅員狭小による事故の懸念の他、整備による効果・期待等の意見が寄せられた。
- ■渋滞による産業への悪影響や観光交通、観光客減少などの懸念の他、整備による効果・期待等の意見が寄せられた。

区分(政策	目標)	主な意見
交通の 円滑化	課題	<ul> <li>・飯田インター西交差点付近は渋滞が激しい交差点である。(消防署)</li> <li>・国道153号が渋滞しているので、国道153号を避けて並行する市道や県道を利用して通勤している人もいる。(商工会)</li> <li>・朝晩は余裕を持ったダイヤ設定を行っているが、渋滞が顕著なため設定したダイヤ以上にバスの遅れが発生している。(バス協会)</li> </ul>
	機能	<ul> <li>・時間が読める道路を望んでいる。(タクシー協会)</li> <li>・飯田山本ICから飯田ICまでバイパスができたら良いと思う。(道路利用者/飯田市)</li> <li>・飯田インター西交差点の渋滞を緩和してほしい。(住民/飯田市)</li> </ul>
六泽史今	課題	<ul><li>・工場や観光地が周辺にあるため、大型車が通行するので、児童の安全に懸念がある。(学校)</li><li>・対象区間において、事故が発生している。事故は渋滞区間での追突や誤発進、出会い頭の事故が多い。(警察)</li></ul>
交通安全 の確保	機能	・ <mark>幅員の確保</mark> を望む。幅員が確保されれば、大型車の走行性も向上する。(トラック協会) ・児童の通学のためにも <mark>歩道の確保</mark> が必要。通学時の安全性が向上すると考えている。(学校) ・人口の多い地域であり、交通面・歩行面で、 <mark>安全に快く通過できる必要</mark> がある。(住民/飯田市)
地域振興	課題	・広域交通は中央道により定時性が確保されているが、 <mark>インターを降りた後、飯田市内で渋滞があると、時間信頼性の面で課題</mark> がある。(自治体) ・国道153号の <mark>渋滞により、10~15分程度の遅れ</mark> を見込んでいる。(トラック協会)
(産業)	機能	・愛知県方面からの産業・観光用途の見地から、中央自動車道と並行している国道153号は、中央道が災害時の際の代替路であり、 <mark>国道153号の整備は道路ネットワークの機能強化に繋がる</mark> 。(自治体) ・国道153号は豊田市方面と飯田市方面を結ぶ「交流促進型広域道路」としており、 <mark>都市間を結ぶ道路として渋滞解消は重要</mark> 。(自治体)
地域振興(観光)	課題	<ul> <li>・リニア駅から阿智村方面への幹線道路であるが、対象区間だけが道路が弱い印象がある。 ボトルネック箇所があると道路全体の機能が低下する。(自治体)</li> <li>・リニア駅から下伊那西部までのアクセス強化を図ることによる関東・関西圏の観光客の増加を期待されるため、整備が必要である。現在の153号は交通渋滞により通勤・通学に支障をきたす状況であるので、リニア駅からのアクセス性の強化を図る。(住民/阿智村)</li> </ul>
	機能	・国道153号の道路整備により渋滞が緩和し、時間予測出来るようになれば <mark>観光・産業・物流にとって良くなると感じている</mark> 。(道の駅) ・渋滞が無くなり、周遊できる施設数が増えればツアーを組みやすくなり観光客も増加する。(観光協会) ・観光地で道路が整備されると、道の駅やドライブインなどの新たな立ち寄り施設の整備が見込まれ、観光の起爆剤となりやすい。(旅行業協会) ・リニア開業までに開通することを望みます。(住民/飯田市)

# 4. 第1回意見聴取の結果 7)まとめ





- 〇安全・快適な走行
- ⇒【政策目標】交通安全の確保

〇歩行者の安全

- ⇒【政策目標】交通安全の確保
- 〇観光促進·產業活性化 ⇒【政策目標】地域振興

#### まとめ

●第1回地方小委員会で確認いただいた課題や政策目標は、地域の方が感じている課題や求められる機能・役割を網羅していることが分かった。

●以上より政策目標の妥当性を確認した。

政策 目標 交通の円滑化 交通安全の確保 地域振興

# 5. 対応方針(原案)の検討

# 5. 対応方針(原案)の検討 1)ルート帯案の考え方

- ■第1回意見聴取で地域の課題や政策目標などについて確認したことから、コントロールポイントを踏まえてルート帯 案を設定する。
- ■設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのかなどを整理し、第2回意見聴取で地域がより重視するルート帯案選定のポイントを設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。
- ■下伊那地域の課題を早期に解決する政策目標を設定

政策 目標

交通の円滑化

交通安全の確保

地域振興

■対策案の検討

【交通関連】

交通混雑を緩和する円滑な道路

【事故関連】

安全性を高め交通事故を減少する道路安全・安心な歩行空間を確保する道路

【産業・観光】

地域の産業振興を支援する道路

ポイント ポイント

渋滞が緩和できるか

・自動車の安全性・快適性が向上するか ・歩行者の安全性が向上するか ・リニア長野県駅から観光地へ 早く到着できるか

【配慮すべきポイント】

•自然環境の保全

・生活環境への配慮

・防災への配慮

・経済性への配慮

#### 地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯案を設定

バイパス整備により政策目標を達成する案

現道改良により政策目標を達成する案

【案1】バイパス案

【案2】現道改良+バイパス案

【案3】現道改良案

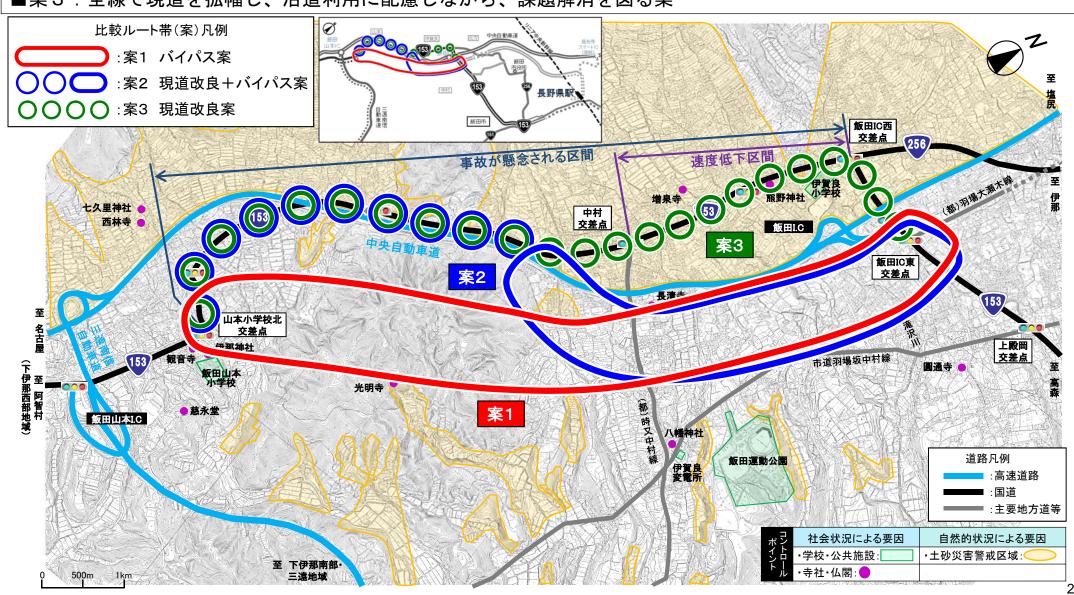
# 対応方針(原案)の検討 ルート帯案の概要

■コントロールポイントを勘案しつつ、以下ルート帯案を検討

■案1:全線でバイパスを整備し、通過交通を分離することで、課題解消を図る案

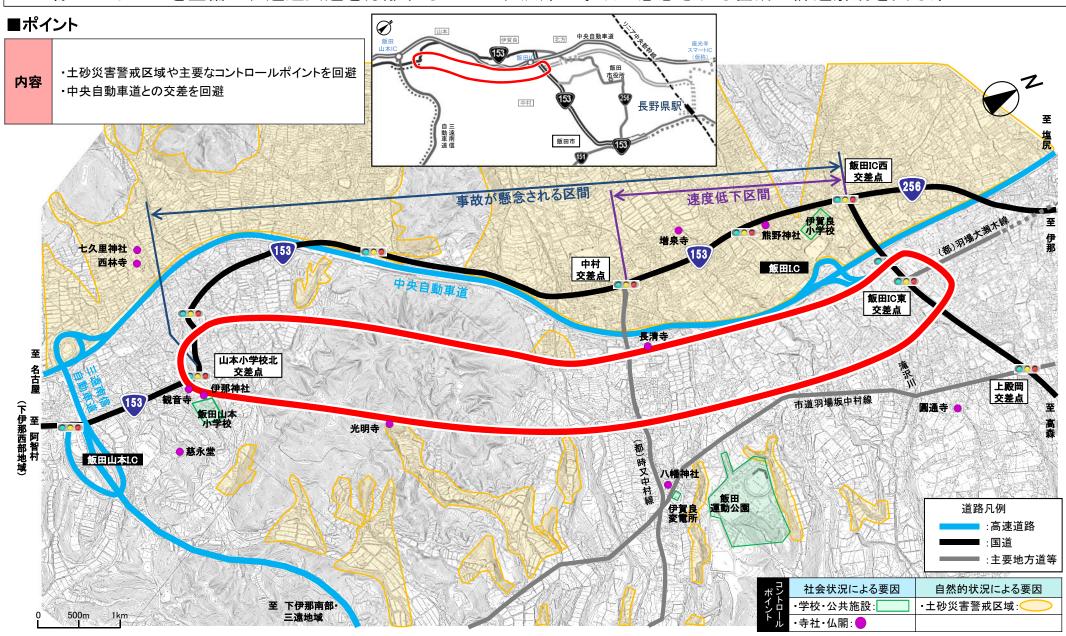
■案2:南側で現道拡幅、北側でバイパスを整備し、沿道利用を一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案

■案3:全線で現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、課題解消を図る案



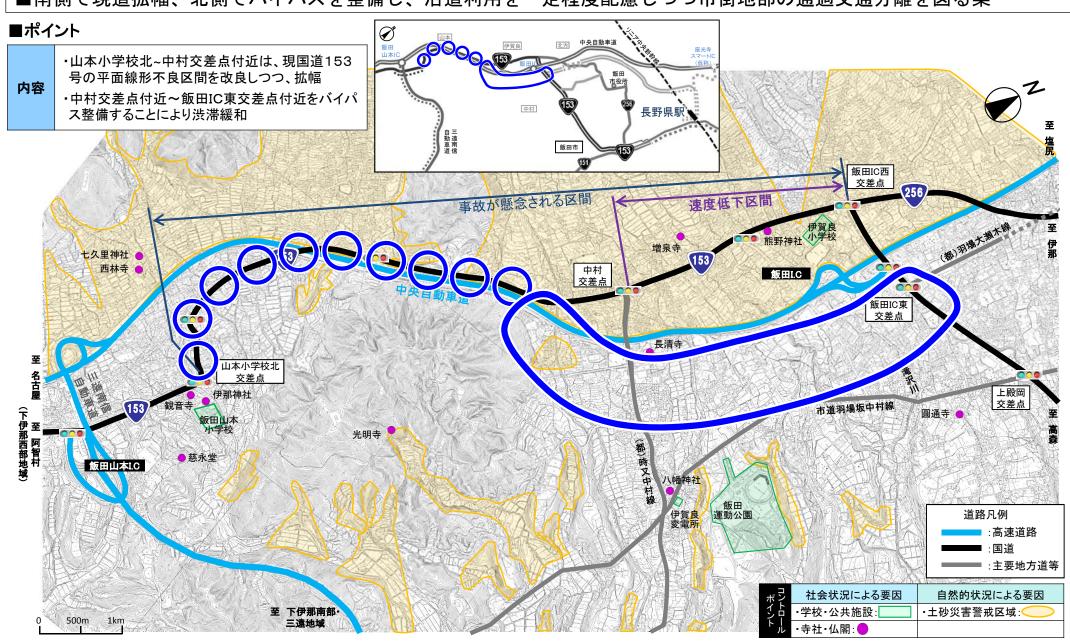
# 5. 対応方針(原案)の検討 3)ルート帯案の概要[案1:バイパス案]

■全線でバイパスを整備し、通過交通を分離することで、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案



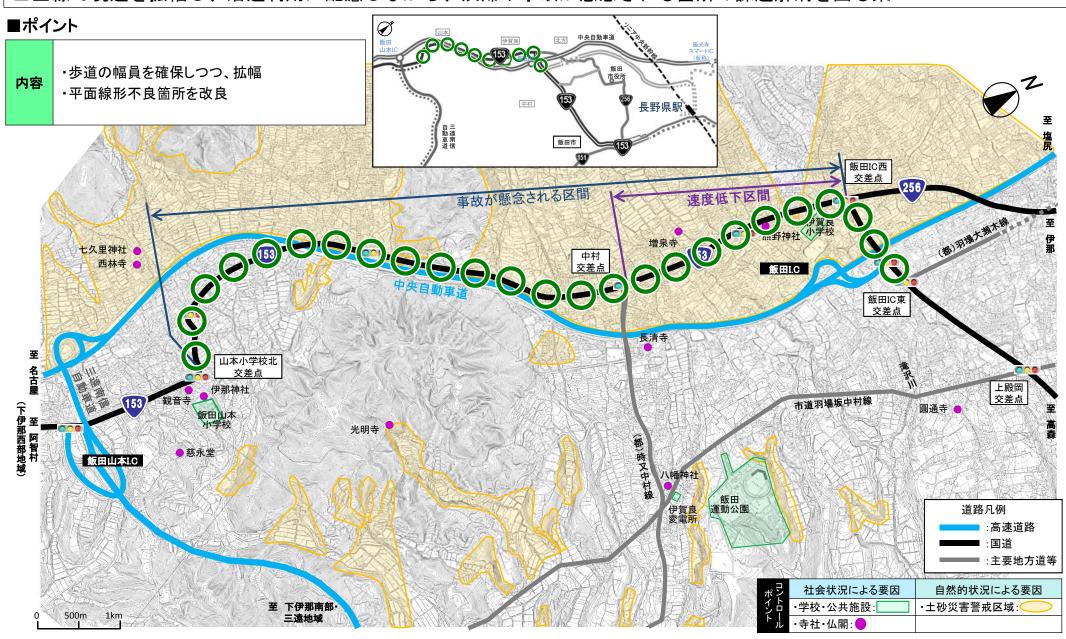
# 5. 対応方針(原案)の検討 3)ルート帯案の概要[案2:現道改良+バイパス案]

■南側で現道拡幅、北側でバイパスを整備し、沿道利用を一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案



# 5. 対応方針(原案)の検討 3)ルート帯案の概要[案3:現道改良案]

■全線で現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案



# 5. 対応方針(原案)の検討 4)ルート帯案の比較・評価

					案1: パイパス案	案2:現道改良+バイパス案	案3: 現道改良案			
					全線でバイパスを整備し、通過交通を分離することで、 渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案	南側で現道拡幅、北側でバイパスを整備し、沿道利用を 一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案	全線で現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案			
					約 4 km	約6km	約 5 km			
	評価項目	I	番号	評価ポイント	原田 山本 (C )	版田 山本IC	版田 山本IC			
政	交通の	円滑化	1	渋滞が少なくなる こと	バイパスに交通が移ることで交通量が減少し、 渋滞が少なくなる	バイパス区間に交通が移ることで交通量が減少し、 <u>決滞が少なくなる</u>	車線数が増えることで、渋滞が少なくなる			
策目標	交通 安全	事故	2	道路線形が良く なること	線形の良いバイパスができることで、安全性が向上	坂道は残るが、急カーブがなくなり、 <mark>安全性が向上</mark>	坂道は残るが、急カーブがなくなり、 <mark>安全性が向上</mark>			
政策目標に対する評価	の確保	歩行者 の安全	3	歩道の幅が広く なること	歩道の幅は変わらないが、バイパスに交通が移ることで、 歩行者の安全性が向上	現道を改良する区間で歩道の幅が広くなり、 <mark>安全性が向上</mark>	歩道の幅が広くなり、安全性が向上			
神	地域 振興	移動の しやす さ	4	リニア長野県駅 から観光地へ早く 到着できること	リニア長野県駅から観光地(昼神温泉)まで 現状:26分 →将来:21分	リニア長野県駅から観光地(昼神温泉)まで 現状:26分 →将来:23分	リニア長野県駅から観光地(昼神温泉)まで 現状:26分 →将来:24分			
	自然環境	の保全	5	自然環境への影響が少ないこと	全線で道路を新しく整備するため自然環境の変化が大きい	バイパス区間において道路を新しく整備するため、自然 環境の変化が大きい	全線、現道を改良するため、自然環境の変化が小さい			
配に慮			6	集落の近くでエ 事をしないこと	集落を回避するため工事中における生活環境への影響 は小さい	現道を改良する区間において集落の近くで工事をするため、案1より工事中における生活環境への影響が大きい	集落の近くで工事をするため、工事中における生活環境 への影響が大きい			
に対する評価配慮すべきポイン	生活環境		7	転居が必要な家・ 店舗の数が少な いこと	集落を回避するため、転居が必要な家・店舗の数が少な く、現道の沿道改変がない	現道を改良する区間が集落を通過するため、転居の必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある	集落を通過するため、転居の必要な家・店舗の数が多く、 現道の沿道改変がある			
イント	品イン 配慮ト	配原	配慮		配慮	8	沿道利用が見込 まれること	バイパスの <mark>沿道利用が見込まれる</mark> が、一方で通過交通 がバイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少 する	バイパス区間ではバイパスの沿道利用が見込まれるが、 一方で通過交通がバイパスに転換することにより現道の 沿道利用は減少する また、現道を改良する区間では現道の沿道利用は変化しない	現道の沿道利用は変化しない
その他	災害に		9	土石流等の危険 性がある地域を 回避すること	土石流等の危険性がある地域を回避するため、他案に 比べて災害時にも道路を通れる可能性が高い	一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、 案1と比べて、災害時に道路を通れるか懸案が残る	一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、 案1と比べて、災害時に道路を通れるか懸案が残る			
他	経済	性	10	道路をつくる費用 が安いこと	約 200~220億円	約 190~210億円	約 220~240億円			

# 6. 第2回意見聴取(案)について

# 6-1. 意見聴取の概要とアンケート配布範囲①

■道路利用者や下伊那地域への来訪が想定される県の他、下伊那地域全域の地方公共団体や住民、各種 団体などに対して、評価項目の重要度について意見を幅広く聴取

#### ●意見聴取(2回目)の概要

		対象			
道路利用者 アンケート調査		<ul><li>・下伊那地域内の「道の駅」利用者</li><li>遠山郷、花の里いいじま、信州新野千石平、信州平谷、信濃路下條</li><li>・観光地(昼神温泉、園原の里、下條温泉)</li><li>・高速PA(阿智PA上り、座光寺PA下り)</li></ul>			
		•愛知県、長野県			
地方公共団体 ヒアリング調査		・下伊那地域内の市町村 飯田市、高森町、阿智村、下條村、泰阜村、喬木村、松川町、 平谷村、根羽村、阿南町、売木村、天龍村、豊丘村、大鹿村			
住民アン ケート調査 下伊那地域		·飯田市、阿智村、泰阜村、下條村、平谷村、根羽村、阿南町、 売木村、天龍村、高森町、豊丘村、松川町、大鹿村、喬木村			
	下伊那地域 ヒアリング	・消防署、警察署、商工会、観光協会、学校(対象区間に通学路 がある学校のみ)、 温泉旅館組合、「道の駅」			
各種団体 聞き取り調査	下伊那地域アンケート	・商工会・商工会議所会員企業 ・観光協会会員 ・長野県トラック協会会員、長野県バス協会会員、 長野県タクシー協会会員			
	その他地域 ヒアリング	・中部圏の全国旅行業協会・日本旅行業協会			



周知方法:記者発表、ポスター掲示、国、県、周辺地域地方公共団体HPへのバナー貼り付け、市町広報誌

配布方法:①住民アンケートは、全戸配布

②道路利用者アンケートは、観光地や「道の駅」、高速PAへアンケート用紙設置

回収方法:①郵便ポスト

②市町村役場や「道の駅」に投函ボックスを設置

期 間:約1ヶ月

# 6-1. 意見聴取の概要とアンケート配布範囲②

- ■市役所、町村役場や道の駅、高速道路PA、商業施設への道路利用者アンケートの設置、商業施設でのインタビュー調査を実施。
- ■HPやポスター、自治体広報誌にて周知を行い回収率向上を狙う。
- ■飯田国道事務所にアンケートバナーを掲載し、インターネットによるWEBアンケートを実施。
- ■商工会等へアンケート内容を説明、周知して回収率向上を図る。
- ●市役所、町役場や道の駅、高速道路PA、商業施設における 道路利用者アンケートの設置



天龍村役場



座光寺PA

●商業施設でのインタビュー調査



イオンアップルロード店



アピタ飯田店

#### ●ホームページでのアンケートバナーの掲載



# 6-2. 意見聴取の調査項目と活用方針

#### ■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの質問項目	ヒアリング結果の活用	備考
行政や業界への意見聴取	・課題、政策目標、道路整備の必要性に関し、行政や業界への意見聴取を行う。 ・行政又は業界との認識の整合性の確認をする。	共通

#### ■アンケート結果の活用方針

アンケートの実施項目	アンケート回答結果の活用	備考
現況の問題点・解決すべき課題	国道153号の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。	
政策目標	道路を計画するにあたって、回答者の考える政策目標及びその優先度について把握する。	第1回
その他の自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯案(複数案)に対する意見	ルート帯選定にあたり、回答者が重要視する観点を把握する。	<b>*</b> 0 E
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	第2回
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する	共通

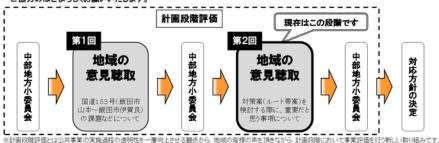
# 6-3. 意見聴取方法 1)第2回アンケート案(紙面構成案)①



# 6-3. 意見聴取方法 1)第2回アンケート案(紙面構成案)②

#### 本アンケートの位置づけと計画段階評価の流れ

- ●国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)では、交通集中による渋滞、交通事故、産業・観光振興による自動車交通の増加などの課題がみられますので、その解決に有用な道路整備の計画検討を進めています。
- ●第1回のアンケートでは地域の課題や地域に求められる道路の役割についてのご意見を頂き、政策目標を決定いたしました。 第2回のアンケート(今回)では、政策目標をもとに、ルート帯楽を選ぶ際に重要と感じるポイントについてご意見を伺うものです。 ご協力のほどよろしくお願いいたします。



#### 回答用の郵便はがきの記入例



間2-1この地域(新田市山本〜新田市伊賀市)にとって、禁ま)」いルート英家を 考える際に重要だと思うことは何ですか? 以下の①~単について、4段階評価してください。 その他ご言葉があれば印にご記入ください。 該当する数字を○で囲んで下さい。 ヤやそう思う あまりそう思わない そう思わない 重要だと思うさ あなたの評価の程度 ①渋滞が少なくなることが重要 1 2 3 4 1 2 3 4 ②交通事故の危険性が減少することが重要 ③歩行者が安全に通行できることが重要 1 2 3 4 ④リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやす 1 2 3 4 S自然環境の変化が少ないこと 2 3 4 1 2 3 4 ⑥工事中の展辺住民への影響が小さいことが重要 ⑦転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の 2 3 4 変化が少ないことが重要 8国道153号(バイバス及び現道)の沿道利用が見込 2 3 4 1 2 3 4 ②災害時に道路を通れることが重要 1 2 3 4 前道路をつくる費用が安いことが重要 ⑪その他(自由回答) 間2-2.この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、 今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、 ご自由にお書きください。【自由回答】 飯田インター西交差点付近の渋滞を何とかしてほしい。 ご協力ありがとうございました。

〈裏面〉

国道153号(飯田市山本〜飯田市伊賀良)の現状について、地域にお住いの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的 としています。そのため、同答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。 回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。 (法令により開示を求められた場合は除きます)

#### 地域の意見聴取の回答方法、実施期間

- 回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ 平成●年●月●日 (●) までに 投かんをお願いします。
- ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

#### 第1回意見聴取の結果

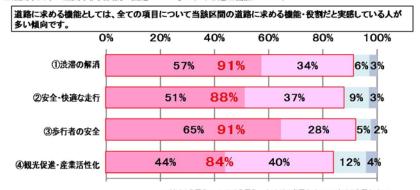
- ●第1回意見聴取では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、10,900通余りものご意見が集まりました。 頂いたご意見の結果を以下にお知らせいたします。
- (1) アンケート結果
- ■飯田市山本〜飯田市伊賀良間の国道153号の課題について

| 交通の課題については、全ての項目について当該区間の道路の課題だと認識している人が多い傾向です。



■強くそう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない □全くそう思わない

#### ■飯田市山本〜飯田市伊賀良間の国道153号に求める道路機能について



強くそう思う 単ややそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

#### (2) ヒアリング結果

#### ・飯田インター西交差点付近は渋滞が激しい交差点です。(消防署)

- ・児童の通学のためにも歩道の確保が必要。通学時の安全性が向上すると考えている。(学校)
- ・渋滞が無くなり、周遊できる施設数が増えれば観光ツアーを組みやすくなり、観光客も増加すると期待しています。 (観光協会)

P.3

# 6-3. 意見聴取方法 1)第2回アンケート案(紙面構成案)③



# 6-3. 意見聴取方法 1)第2回アンケート案(紙面構成案)④



# 6-3. 意見聴取方法 1)第2回アンケート案(紙面構成案)⑤



# 6-3. 意見聴取方法 2)第2回アンケート案(質問事項)

- ■「対策案(ルート帯案)」について確認。
- ■「質問事項」と合わせて、自由意見や回答者の属性を確認。

#### ●質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

**質問1**:この地域(飯田市山本〜飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。

以下の①~⑩の項目について、4段階評価してください。

その他ご意見があれば⑪にご記入ください。

#### <4段階評価>

- 4. そう思う 3. ややそう思う 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。
  - ①渋滞が少なくなることが重要
  - ②交通事故の危険性が減少することが重要
  - ③歩行者が安全に通行できることが重要
- ④リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要
- ⑤自然環境の変化が少ないこと
- ⑥工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要
- ⑦転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要
- ⑧国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要
- ⑨災害時に道路を通れることが重要
- ⑩道路をつくる費用が安いことが重要
- ⑪その他(自由回答)

**質問2**:この地域(飯田市山本〜飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、 今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

#### ●回答ハガキ

¥	料金受取人並 差出有効填 「成●年●月頃 「切手不要	長野県飯田市東栄町3350 国土交通省飯田国道事務所 計画課 行
		号(飯田市山本〜飯田市伊賀良)に関するアンケート
		身についてお聞かせください。 ニチェックを記入して下さい。
1 2020	住所 【1つ選択】	□ 1:長野県飯田市 ( ) □ 2:長野県 ( )市·町·村( ) □ 3: ( )都·道·府·県 ( )市·区·町·村( ) ※( )内に具体的に住所を記入してぐださい。番地は不要です。
問1-1.	性別	□ 1: 男性 □2: 女性
	年齢	□ 1:10代 □ 2:20代 □ 3:30代 □ 4:40代 □ 5:50代 □ 6:60代 □ 7:70歳以上
問1-2. 自動車利用 【1つ選択】		□ 1:ほぼ毎日 □2:週に数回程度 □ 3:月に数回程度 □4:ほぼ利用しない □ 5:利用したことがない
問1-3. 対象区間の国道153号 利用の有無 【1つ選択】		※「問1-2」で1~4と回答された方にお聞きします。 対象区間【国道153号 飯田市山本~伊賀良】を □ 1:利用する □ 2:利用しない(→2と回答された方は裏面「問2-1」へ)
問1-4. 対象区間の国道153号の 主な利用目的 【1つ選択】		<ul><li>※「問1-3」で1と回答された方にお聞きします。</li><li>□ 1:仕事 □ 2:通勤・通学</li><li>□ 3:日常的な買い物・通院等 □ 4:観光・レジャー</li><li>□ 5: その他:( )</li></ul>
問1-5. 主な利用時間 【複数選択可】		□1:0~3時 □2:3~6時 □3:6~9時 □4:9~12時 □5:12~15時 □6:15~18時 □7:18~21時 □7:21~24時
問1-6. 主な目的地		( )都·道·府·県 ( )市·区·町·村( )

郵便はがき